



JASDAQ

平成22年8月13日

各 位

会 社 名 株式会社C&Gシステムズ
代表者名 代表取締役社長 山口 修司
(J A S D A Q コード 6 6 3 3)
問合せ先 執行役員 管理統括部 部長
大野 聡太郎
(T E L . 0 3 - 5 7 9 3 - 8 8 0 0)

(訂正・数値データ訂正あり)

「平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社が平成22年8月11日に公表いたしました「平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に訂正がありましたので、下記の通りお知らせいたします。

また、訂正部分には波線(~~~~)を付しております。

記

【訂正箇所】

サマリー情報

1. 平成22年12月期第2四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年6月30日)

(2) 連結財政状態

(訂正前)

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|--------------|--------------|-------------|---------------|
| 22年12月期第2四半期 | 百万円 4,149 | 百万円 2,085 | % 49.6 | 円 銭 186.20 |
| 21年12月期 | <u>5,457</u> | <u>3,161</u> | <u>57.2</u> | <u>270.16</u> |

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 2,056百万円 21年12月期 2,132百万円

(訂正後)

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|--------------|--------------|-------------|---------------|
| 22年12月期第2四半期 | 百万円 4,149 | 百万円 2,085 | % 49.6 | 円 銭 186.20 |
| 21年12月期 | <u>4,450</u> | <u>2,160</u> | <u>47.9</u> | <u>184.64</u> |

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 2,056百万円 21年12月期 2,132百万円

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(訂正前)

(CAD/CAM システム事業)

CAD/CAM システム事業においては、2010 年 4 月に「インターモールド 2010 (大阪)」、6 月に「設計・製造ソリューション展 (東京)」にそれぞれ出展し、既存ユーザおよび潜在顧客に対して、当社製品の優位性や CAD/CAM 技術支援体制等を紹介いたしました。また研究開発分野においては、金型用 3 次元 CAD システム「CAM-TOOL」をバージョンアップ、主要工具メーカーの工具に対する参考切削条件を新たに搭載し、加工工程の設定作業を容易にするとともに、より正確な干渉チェックを可能といたしました。また金型用 3 次元 CAD/CAM「Neosolid」の樹脂流動解析オプションを開発、設計者にも使いやすい「CAD 組み込み型 CAE オプション」として提供いたしました。

これらの結果、CAD/CAM システム事業の売上高は 12 億 99 百万円、営業利益は 1 億 77 百万円となりました。

(訂正後)

(CAD/CAM システム事業)

CAD/CAM システム事業においては、2010 年 4 月に「インターモールド 2010 (大阪)」、6 月に「設計・製造ソリューション展 (東京)」にそれぞれ出展し、既存ユーザおよび潜在顧客に対して、当社製品の優位性や CAD/CAM 技術支援体制等を紹介いたしました。また研究開発分野においては、金型用 3 次元 CAM システム「CAM-TOOL」をバージョンアップ、主要工具メーカーの工具に対する参考切削条件を新たに搭載し、加工工程の設定作業を容易にするとともに、より正確な干渉チェックを可能といたしました。また金型用 3 次元 CAD/CAM「Neosolid」の樹脂流動解析オプションを開発、設計者にも使いやすい「CAD 組み込み型 CAE オプション」として提供いたしました。

これらの結果、CAD/CAM システム事業の売上高は 12 億 99 百万円、営業利益は 1 億 77 百万円となりました。

以 上